

松岡小鶴 せうかく 醫家、漢學者。文化二年播磨國生れ、明治六年十月十五日歿（一八〇六一七三）。本名小鶴 こづる、通稱小けん、自謙。號緬衣。父は松岡左仲。天保二年中川全（陶庵）を婿養子に迎へ一子（松岡操）を儲けると、九年離縁。十一年父の歿後醫業を継ぎ、のち漢學を以て子弟を教授。井上通泰、柳田國男の祖母。

『松岡小鶴女子遺稿』（大正十一年刊）がある。

